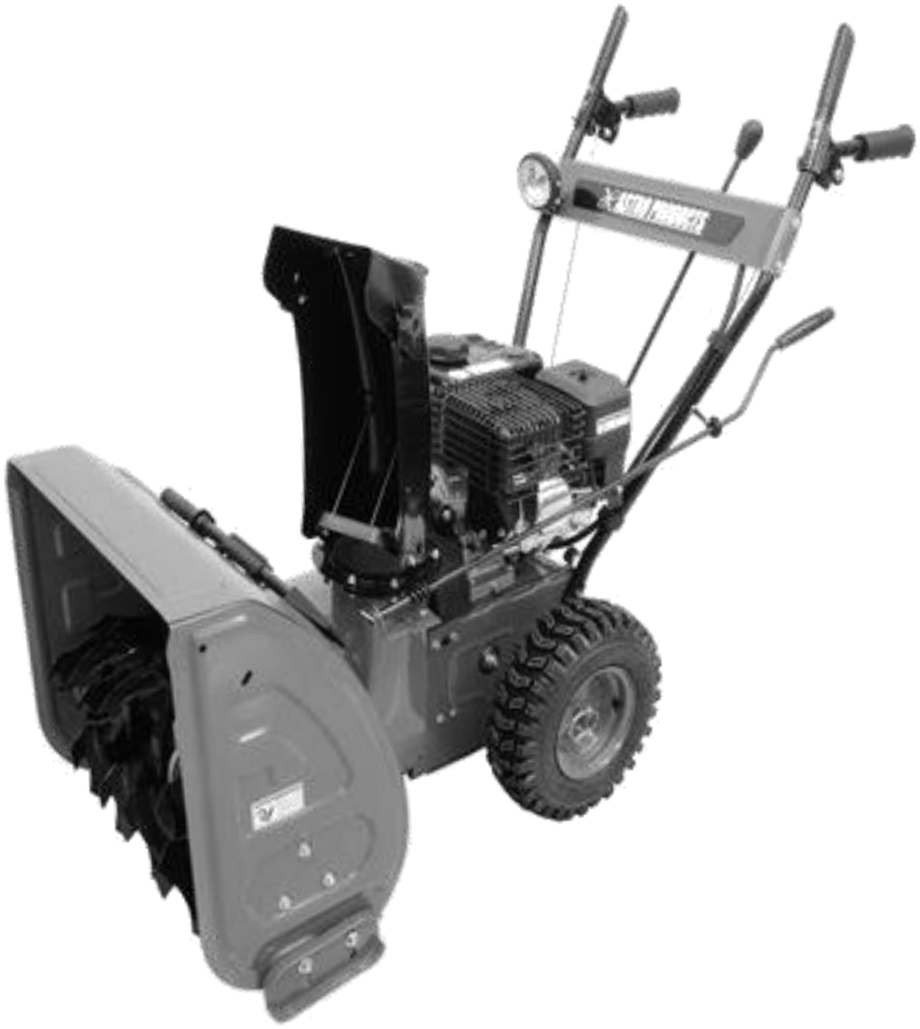
ASTRO PRODUCTS

AP160626

AP 除雪機 SB626

取扱説明書

注記：実際の商品と、取扱説明書内の写真では、色や形状が異なる場合がありますので、ご了承ください。



この度は、アストロプロダクツ商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

1．はじめに

●使用前に、取扱説明書をよく読み、安全に使用してください。

●安全上の注意や製品仕様などは、予告なく変更される場合があります。そのため、お客様が購入された製品と、取扱説明書に記載された内容が、一部異なる場合がありますので、ご了承ください。

2．取扱説明書について

●当社の許可なく、取扱説明書の内容全部または、一部を複製・改修し、無断で転載することは、禁止されています。

●この取扱説明書、および製品本体に貼り付けられたラベルは、安全に関わる重要な、危険・警告・注意事項を、「⚠」マークを使用し表現しています。製品を安全に使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防止するためのものなので、必ず守ってください。

●本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている各項目をよく読み、理解し厳守してください。取扱説明書をなくしたり、汚したりせず、使用者が任意に読むことができるよう、大切に保管してください。

●危険・警告・注意事項の意に反して、安全義務を怠り、規定外の使用による機器の破損やケガなどに関しては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

安全に関する表示について

⚠ 危険	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの、重大な傷害を負う危険が、差し迫った状態を示しています。
⚠ 警告	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの、重大な傷害を負う可能性を示しています。
⚠ 注意	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、人的傷害および、製品の故障や、その他、物的損害が発生する可能性を示しています。

３．目次

４．安全に使用していただくために…… ５
■作業をはじめる前に…… ５
■燃料の給油…… ８
■除雪機の安全上の留意点…… ９
■点検・保管…… １２
５．重要ラベル…… １３
６．製品仕様…… １５
７．製品説明…… １５
８．各部名称・説明…… １６
８－１．各部名称…… １６
８－２．各部説明…… １８
９．始動前準備…… ２４
９－１．エンジンオイルの給油…… ２４
９－２．燃料の給油…… ２５
１０．エンジンの始動・停止…… ２６
１０－１．エンジン始動…… ２６
１０－２．エンジン停止…… ２９
１１．運転方法…… ３１
１１－１．前進…… ３１
１１－２．後進…… ３２
１２．除雪方法…… ３３
１２－１．準備…… ３３
１２－２．除雪…… ３４
１３．点検・整備…… ３５
１３－１．点検・交換時の留意点…… ３５
１３－２．定期運転・交換…… ３５
１３－３．点検・交換目安…… ３５
１３－４．エンジンオイルの点検・交換…… ３６
１３－５．フィルターの清掃…… ３８
１３－６．スパークプラグの点検・清掃・交換…… ３９
１３－７．ギアケースの点検…… ４０
１３－８．走行・除雪クラッチレバーの調整…… ４１
１４．燃料の抜き方…… ４２
１４－１．燃料を抜くときの留意点…… ４２
１４－２．抜き方…… ４２

３．目次

１５．保管・運搬..... ４３
１５－１．保管・運搬時の留意点..... ４３
１５－２．保管方法..... ４３
１５－３．運搬方法..... ４３
１６．トラブルシューティング..... ４４
１７．破棄について..... ４５
１８．所有者・使用者責任..... ４５
１９．故障について..... ４５
２０．個人情報の取り扱い..... ４５
２１．販売規約..... ４６
２２．お問い合わせ先..... ４７
■カスタマーサービス..... ４７
■販売元..... ４７

4. 安全に使用していただくために

作業をはじめる前に

⚠ 危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。

・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、重傷、死亡などの重大な事故の原因となります。

●確実に操作するために、各部の操作に慣れ、素早く運転停止する方法を、習得してください。

・不慣れな状態での操作は、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

●除雪作業前には、必ず除雪作業場所を、よく点検してください。木片、缶、石、針金、ナワ、金属片などの異物は、全て取り除いてください。

・異物は、本体故障以外に、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

●修理技術者以外の人は、本取扱説明書に記載されていない、分解・修理・改造は、しないでください。

・異常作動、加熱、発火、感電など、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

⚠ 警告

●使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。

・使用方法が不明な場合は、絶対に使用することなく、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせしてください。

●本製品は、自動車整備士資格を有する方や、除雪機の構造や燃料（ガソリン）の取り扱いに、熟知した方を対象に作られています。

・知識が不十分な方の使用は、重大な事故を招く恐れがあります。

●本製品を他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に渡してください。

・誤った使用により、事故やケガを負う原因となります。

●警告・注意ラベルを、汚したり、剥がしたりしないでください。

・誤った使用により、事故やケガを負う原因となります。

●本製品は、除雪することを目的に作られています。

・本来の用途以外での使用は、事故やケガを負う原因となります。

●誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への損傷、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。

・取扱説明書の使用方法を、よく理解してください。

●使用者以外、使用場所に近づけないでください。

・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

4．安全に使用していただくために

作業をはじめる前に

⚠警告

●本製品は、大切に取り扱ってください。横転や強い衝撃が加わった場合は、ただちに使用を中止し、必ず各部に異常がないか、点検してください。

・本体に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせしてください。なお、当社での修理サービスは行っていません。

●本体が異常に熱い、異音や異臭がする、その他の異常を感じた場合は、ただちに使用を中止してください。

・本体に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせしてください。なお、当社での修理サービスは行っていません。

●取扱説明書や重要ラベルに記載されている、危険・警告・注意事項をよく守り、安全に十分配慮し操作してください。

・取り扱いを誤ると、事故やケガを負う原因となります。

●過労と思われるときや、飲酒や薬物を服用しているときに、使用しないでください。

・判断力が鈍り、事故やケガを負う原因となります。

●子供や妊娠中の方は、絶対に本製品を操作しないでください。

・正しく使用できない恐れがあり、事故やケガを負う原因となります。

●作業前には、必ず防寒着、防寒手袋、帽子などの防寒用の衣類を着用し、滑り止めのある靴を履いてください。

・薄着やスニーカーなどで作業すると、事故やケガを負う原因となります。

●次の服装などは、巻き込まれて、事故やケガを負う原因となるので、止めてください。

・長髪を束ねたりせずに、そのままの状態にしている。
・ネックレスなどの、装飾具を身に付けている。
・サイズの極端に大きな防寒着を着用している。

●次の作業環境下での使用は、事故やケガを負う原因となるので、止めてください。

・足元が滑りやすく、不安定な場所
・夜間や霧が発生し、視界が悪く、周囲の安全をよく確認できない場合
・吹雪、強風、雷の発生など、悪天候時
・坂道や傾斜のある場所
・火気、可燃性のガス・液体のある場所
・通気が悪く、換気のできない場所
・ガラス、釘、針金、ヒモなどが落ちている場所

●周辺温度が４０℃以上になる高温な場所、直射日光下では使用しないでください。

・高温による脱水症状や、熱中症になる恐れがあります。

4．安全に使用していただくために

作業をはじめる前に

⚠ 警告

●身体をアースさせる物に、接触させないでください。

・感電する恐れがあります。

●作業前に、オーガ、オーガハウジング、シューターなどに異物が混入していないか、点検してください。

・異物の混入は、故障や事故、ケガを負う原因となります。

●トラックなどから積み降ろすときは、２人以上で行い、十分な安全確認を行ってください。

・安全確認を怠ると、事故やケガを負う原因となります。

●トラックなどから積み降ろすときは、幅や長さが適切な、十分強度のあるスロープを使用し、トラックなどに確実に固定してください。

・不適切なスロープの使用や固定不備は、スロープの曲りや折損、除雪機の落下など、事故の原因となります。

●トラックなどに積むときは前進１速で、降ろすときは後進１速で行ってください。

・前後が逆の場合や速度が速い状態で積み降ろしすると、バランスを崩す恐れがあり、除雪機の落下など事故の原因となります。

●スロープの上では、除雪クラッチレバーを操作しないでください。

・除雪機の落下など、事故の原因となります。

●移動前に、除雪機をトラックなどに、十分強度のあるロープなどで、確実に固定してください。

・除雪機の落下など、事故の原因となります。

●本製品は、販売規約に基づき、当社保証や修理対応外となります。

・自己の責任のもと、定期点検などを行ってください。なお、当社での修理サービスは行っていません。

●地域のルール従って、除雪作業を行ってください。

・除雪作業時に発生した人的トラブルなどに関しては、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

●各パーツの状態を確認してください。

・損傷・破損、サビ、欠品などが確認できる場合は、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで問い合わせしてください。

●各パーツは、必ず純正パーツを使用してください。他製品のパーツを取り付けないでください。

・故障の原因となります。

●使用前には、毎回各部の点検を行ってください。

・故障や事故を未然に防ぐことができます。

4．安全に使用していただくために

燃料の給油

⚠ 危険

●燃料の給油は、安全確認を怠ると、火災や爆発の危険があります。次の内容は、必ず守ってください。

・タバコを吸わない。

・火気や火気を発生させる物の側で給油しない。

・通気のよい場所で給油する。

・静電気を除去してから給油する。

・エンジンを停止させる。

●給油中に、燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。

・こぼれた燃料は、引火する危険があり、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●給油後は、燃料の漏れがないことを確認し、燃料が漏れている場合は、絶対に使用しないでください。

・漏れた燃料は、引火する危険があり、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●給油後、エンジンを始動するときは、給油した場所より、３m以上離れた場所で、エンジンを始動してください。

・燃料がこぼれている可能性があり、こぼれた燃料は、引火する危険があり、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

⚠ 警告

●燃料漏れの原因となるので、燃料キャップは確実に締め付けてください。

・燃料漏れは、事故の原因となります。

●燃料が、誤って口や目に入った場合は、ただちに次の処置を施してください。

・ただちにきれいな水で、少なくとも１０分間はよく洗い流し、医師の診断を受けてください。

●燃料が、皮膚に付着してしまった場合は、すみやかに次の処置を施してください。

・石けんと水で、よく洗い流してください。

⚠ 注意

●燃料の給油中、燃料タンク内に水、雪、氷が入らないよう十分注意してください。

・エンジン始動困難、エンジン不調、本体故障の原因となります。

●燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

・他の燃料の使用は、エンジン不調や故障の原因となります。

4．安全に使用していただくために

除雪機の安全上の留意点

⚠危険

●除雪中は、オーガやブロアが回転しているので、覗く、手や足を近づける、入れるなどの行為は、大変危険なので、止めてください。

・重大な事故や、重傷を負う原因となります。

●除雪中、シューターに手や足を入れる、顔を近づける行為は、大変危険なので、止めてください。

・重大な事故や、重傷を負う原因となります。

●屋根の上で、除雪機を使用しないでください。

・作業者の転倒や落下、除雪機の横転や落下など、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

●雪の中には、石や氷などの異物が、混ざっている可能性があり、それらは雪よりも遠くに飛び、大変危険です。

・重大な事故や、重傷を負う原因となるので、投雪距離を調整しながら除雪してください。

●除雪作業場所に、人や動物を近づけないでください。

・重大な事故や、重傷を負う原因となるので、周囲に人や動物がいるときや、近づいたときは、除雪作業を止めてください。

●雪の上や凍結した路面は、大変滑りやすく、転倒し重傷を負う恐れがあります。

・足元に十分注意し、走らずに、ゆっくりと低速で走行してください。

●後進するときは、足元に十分注意し、背後の安全を、よく確認してください。

・滑りやすい足元は、転倒し除雪機の下敷きになる可能性があり大変危険です。また、背後の安全確認を怠ると、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

●人や動物、建物、自動車などに向けて、投雪しないでください。

・重大な事故や、重傷を負う原因となります。

●走行・除雪クラッチレバーを、ヒモや針金などで、縛って固定しないでください。

・作動が停止せずに除雪機にひかれる恐れや、オーガへ巻き込まれるなど、重傷を負う原因となります。

●坂道や傾斜面を、横切って除雪しないでください。また、坂道や傾斜面で方向を変えるときは、十分速度を落とし、足元に注意してください。

・作業者の転倒や、除雪機の横転など、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

●オーガやシューターに詰まった雪を取り除くときは、必ずエンジンを停止してください。また、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを外してください。

・エンジン始動中や始動状態での雪の除去作業は、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

4．安全に使用していただくために

除雪機の安全上の留意点

⚠ 警告

●早朝や夜間、悪天候など、視界の悪いときには、除雪作業をしないでください。

・重大な事故を招く可能性があります。

●早朝や夜間など、視界が見えにくいときは、作業灯を点灯し、十分な照明のもと、作業してください。

・事故やケガを負う原因となります。

●急発進は、止めてください。必ず、１速から走行し、徐々に速度を上げてください。

・すぐに停止することができなく、事故やケガを負う原因となります。

●移動中は、除雪クラッチレバーを、握らないでください。

・オーガを回転させながら走行することは、事故の原因となります。

●公道を走行・除雪しないでください。

・交通事故を招く恐れがあります。

●砂利のある場所を走行するときは、オーガを回転させずに、走行してください。

・砂利が飛ぶ恐れがあります。

●除雪作業中は、ハンドルをしっかり握ってください。

・振動により、思わぬ方向に進み、事故の原因となります。

●不意に走行・除雪クラッチレバーを操作しないでください。

・予期せぬ動きをする恐れがあり、事故やケガを負う原因となります。

●共同で、除雪作業を行わないでください。

・思わぬ事故の原因となります。

●わき見運転や、手放し運転は止めてください。

・事故やケガを負う原因となります。

●ベルトカバーを取り外した状態で、使用しないでください。

・巻き込まれる恐れがあり、事故やケガを負う原因となります。

●エンジン始動後、走行やオーガが確実に停止するか、走行・除雪クラッチレバーを操作し、確認してください。

・作動が停止しない場合は、ただちにエンジンを停止し、絶対に使用しないでください。

●エンジン始動中に、プラグコード、プラグキャップに触れないでください。

・感電の恐れがあります。

●砂利のある場所で除雪するときは、スキッドを最後まで下げてください。

・オーガが地面に近い状態は、砂利を飛ばす原因となり、事故やケガの原因となります。

4．安全に使用していただくために

除雪機の安全上の留意点

⚠ 警告

●無理な姿勢で、使用しないでください。

・事故やケガを負う原因となります。

●雪が絡まった状態で、使用しないでください。

・故障や事故の原因となります。

●素手で、オーガやシューターに詰まった雪を、取り除かないでください。必ず、手袋を着用し、雪かき棒で雪を取り除いてください。

・ケガを負う原因となります。

●エンジンを始動させた状態で、放置しないでください。除雪機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

・予期せぬ作動により、事故やケガを負う原因となります。

●運転直後のエンジンやマフラーは、大変高温になっています。冷めるまでは、人が触れない場所に置いてください。

・ヤケドやケガを負う原因となります。

●作業を中断するときは、平らな場所に駐車してください。

・坂道などの傾斜や、不安定な場所への駐車は、横転する恐れや、事故やケガを負う原因となります。

⚠ 注意

●移動するときは、走行・除雪クラッチ側ハンドルをしっかり握ってください。

・他の部位を持っての移動は、事故の原因となります。

●ホコリよけカバーを掛けたまま、使用しないでください。

・ホコリよけカバーが熱で溶け、火災の原因となります。

●低回転で使用すると、本来の性能が発揮できません。

・本体故障の原因となります。

●湿り気を帯びた雪や圧雪された雪など、積雪の状態によっては、除雪できない場合がります。

・除雪できない場合は、無理に使用しないでください。故障の原因となります。

●アイドリング状態で、放置しないでください。

・事故の原因となります。

4. 安全に使用していただくために

点検・保管

⚠ 危険

●点検・清掃をするときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないように、スパークプラグからプラグキャップを外してください。

・エンジン始動中や始動状態での点検・清掃作業は、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

⚠ 警告

●除雪機から離れるときや、点検・清掃・交換作業のときは、必ずエンジンを停止してください。

・事故やケガ負う原因となります。

●エンジン停止直後は、エンジンやマフラーが大変高温になっています。点検・保管するときは、エンジンやマフラーが完全に冷めてから行ってください。

・エンジンやマフラーの高温状態で点検や保管は、事故やケガ負う原因となります。

●紙や木材など、燃えやすい物があるところに、駐車や保管しないでください。

・エンジンやマフラーの熱で、着火する恐れがあり、火災の原因となります。

●使用しない場合は、施錠のできる場所に保管してください。

・事故の原因となります。

●使用者以外、保管場所に近づけないでください。

・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

⚠ 注意

●規定量以上のエンジンオイルは、給油しないでください。

・エンジンの不調や、故障の原因となります。

●１ヶ月以上の長期間使用しないときは、必ず燃料を抜いてください。

・燃料の劣化により、エンジン始動不良や故障の原因となります。

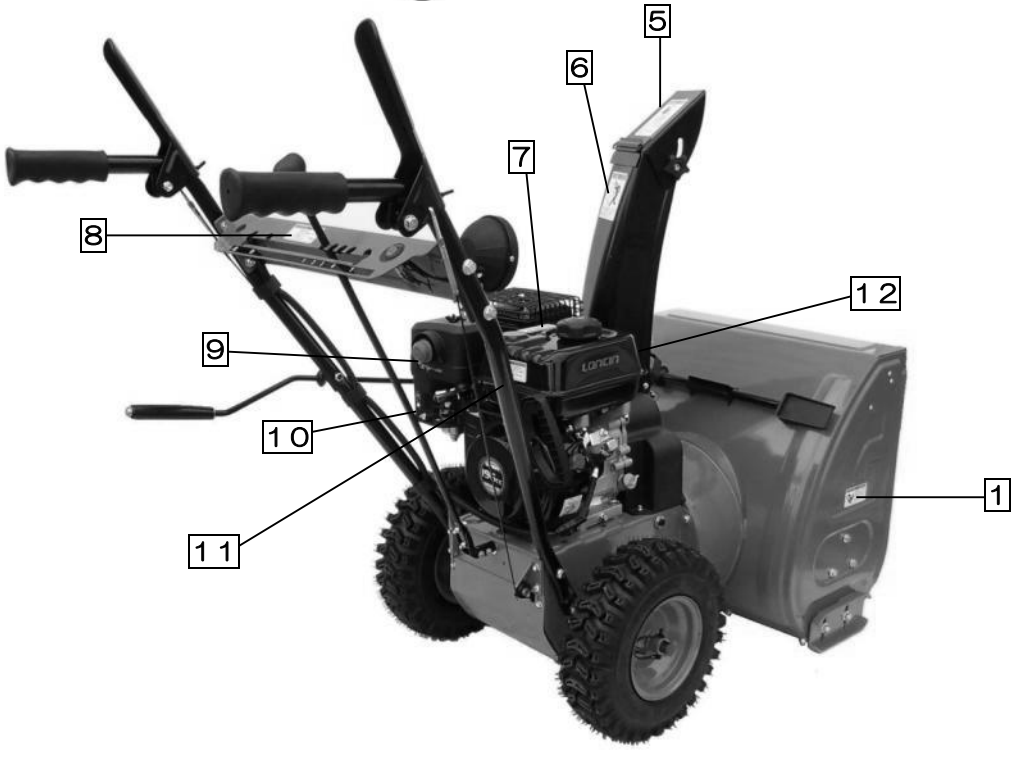
●燃料タンク内に、燃料を入れたまま運搬しないでください。

・燃料がこぼれる恐れがあります。

5．重要ラベル

●安全な取り扱いのために、本体に貼られている、重要ラベルを全て読み、指示に従ってください。

・ラベルを、汚したり、剥がしたりせず、常にきれいにしてください。

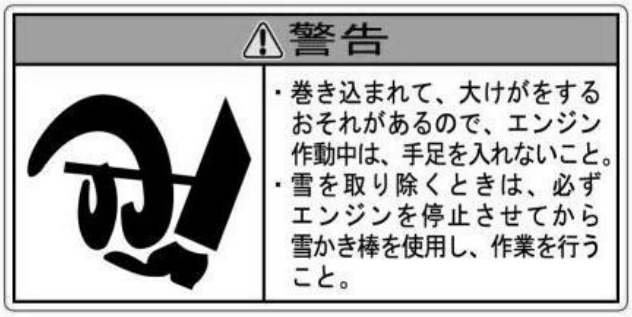


5．重要ラベル

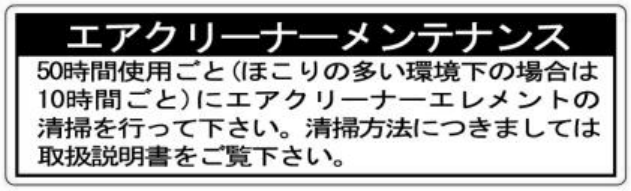
●安全な取り扱いのために、本体に貼られている、重要ラベルを全て読み、指示に従ってください。

・ラベルを、汚したり、剥がしたりせず、常にきれいにしてください。

1



2



3

4

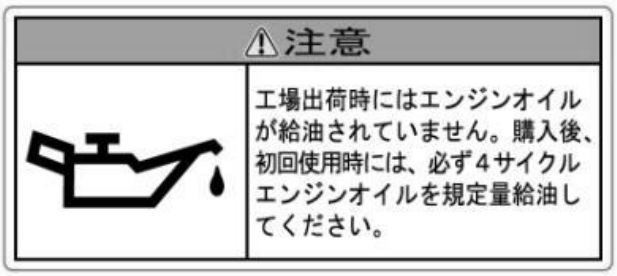
9

10

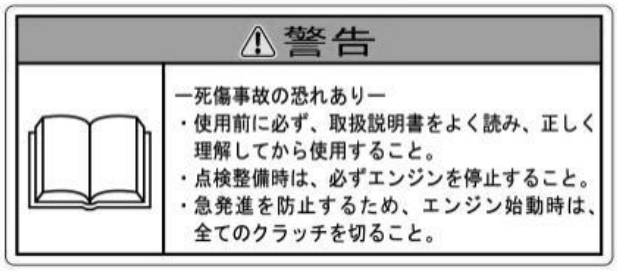
5

6

7



8



11

12

6．製品仕様

型番		ＡＰ１６０６２６
商品コード		２０１６０００００６２６１
エンジン	エンジン種類	空冷４サイクルガソリンエンジン
	排気量	１９３ｃｃ
	最大出力	４．８Ｋｗ
	始動方式	リコイルスターター
	スパークプラグ	Ｆ７ＲＴＣ（ＴＯＲＣＨ） ※他社品：ＢＰＲ７ＥＳ（ＮＧＫ）
燃料タンク容量		約３．６Ｌ
燃料		無鉛レギュラーガソリン
エンジンオイル		５Ｗ－３０
エンジンオイル量		約０．６Ｌ
除雪幅		５５０ｍｍ
投雪距離		約１０～１５ｍ ※雪質によっては、投雪距離が１０ｍよりも下回ります。
重量		７６Ｋｇ
本体サイズ		Ｌ１．４００×Ｗ５６０×Ｈ１，０６０ｍｍ
付属品		プラグレンチ×１、シャーピン×４、ロックピン×４

●製品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

7．製品説明

●小回りしやすい、タイヤタイプの除雪機です。

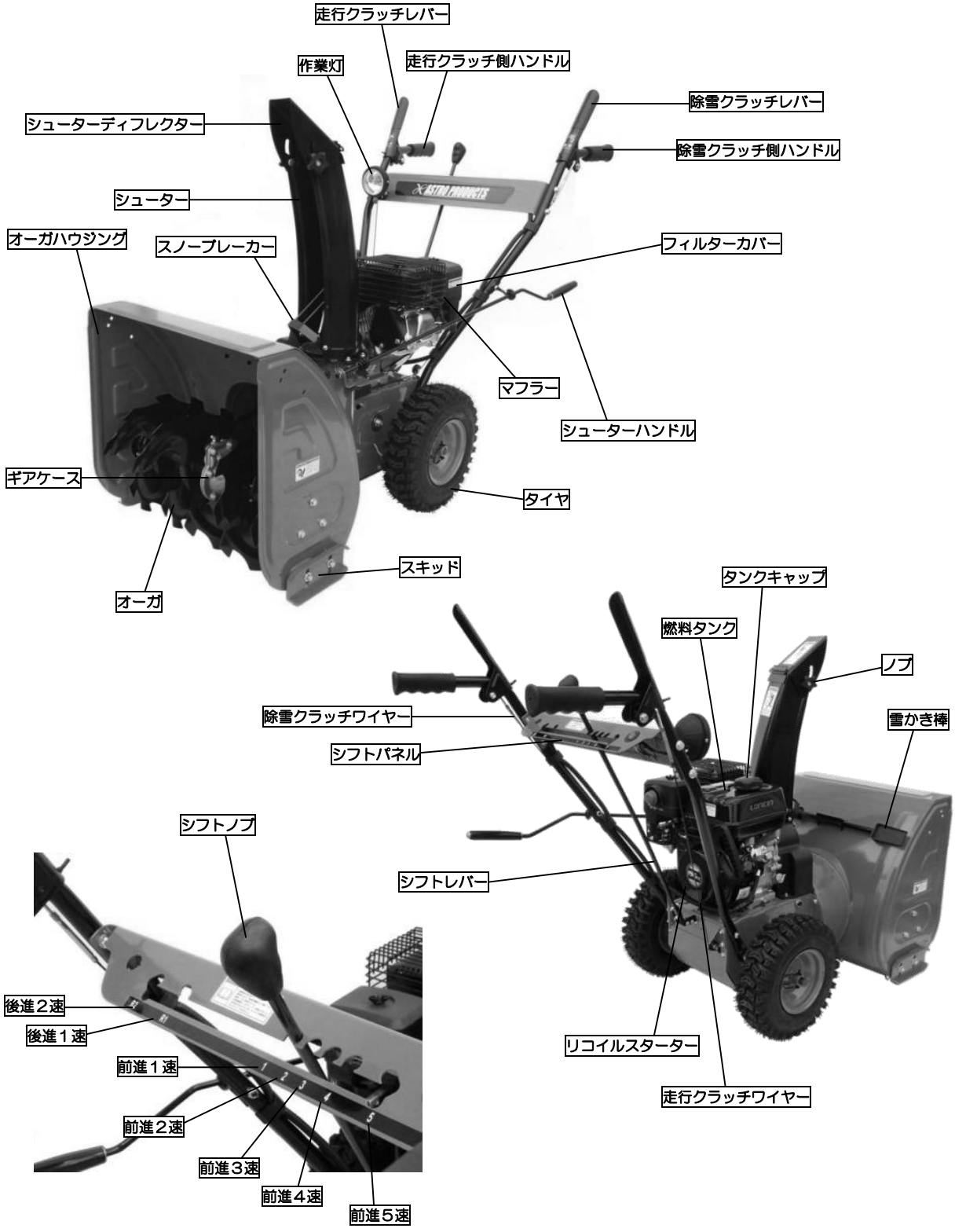
●６．５ＨＰ（４．８Ｋｗ）タイプで、庭や駐車場などの除雪に最適です。

●速度変更可能で、後進することもできます。

●走行・除雪クラッチレバーは、手を離すだけで走行、除雪が停止するので、安心して除雪できます。

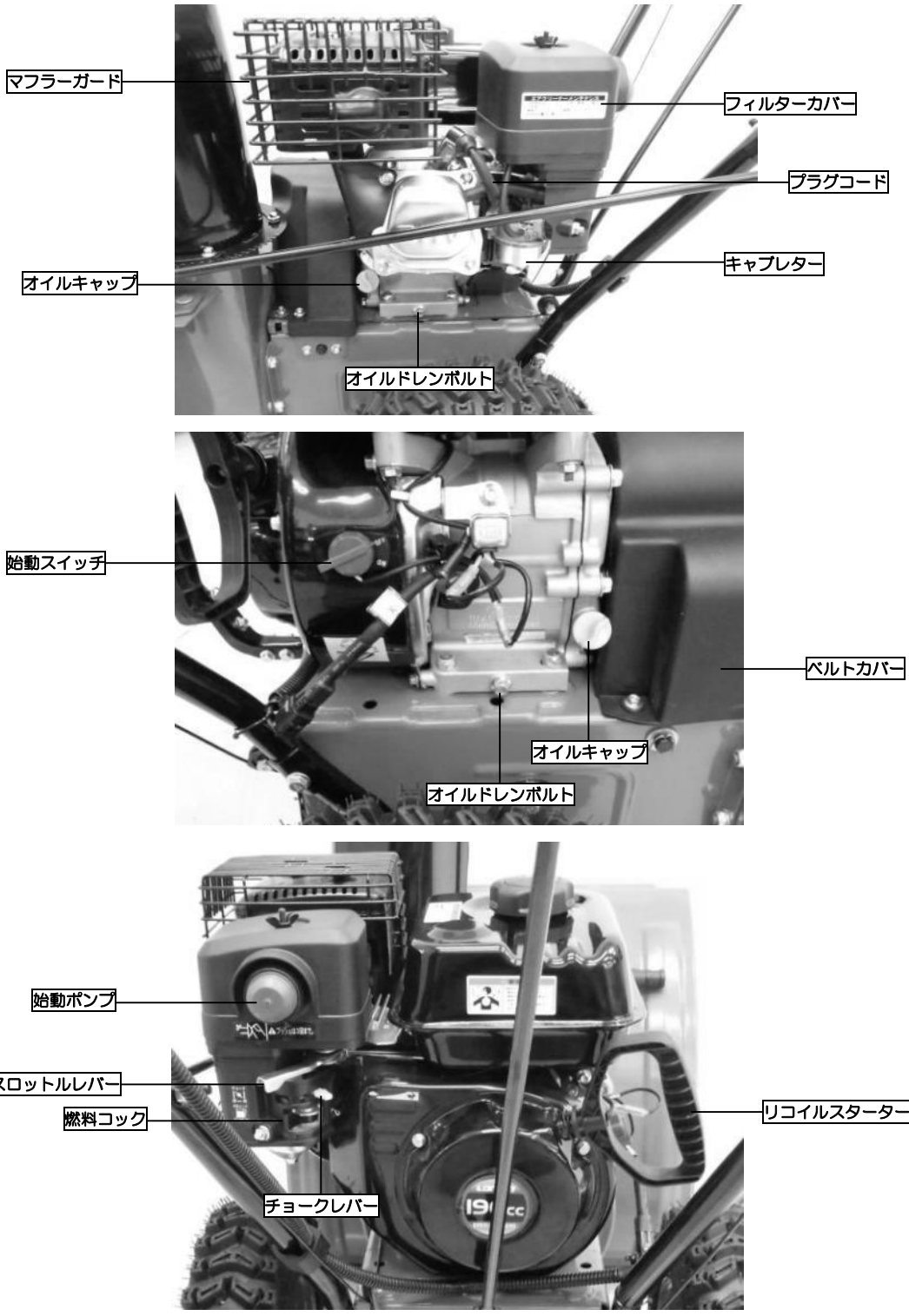
8．各部名称・説明

8－1．各部名称



8．各部名称・説明

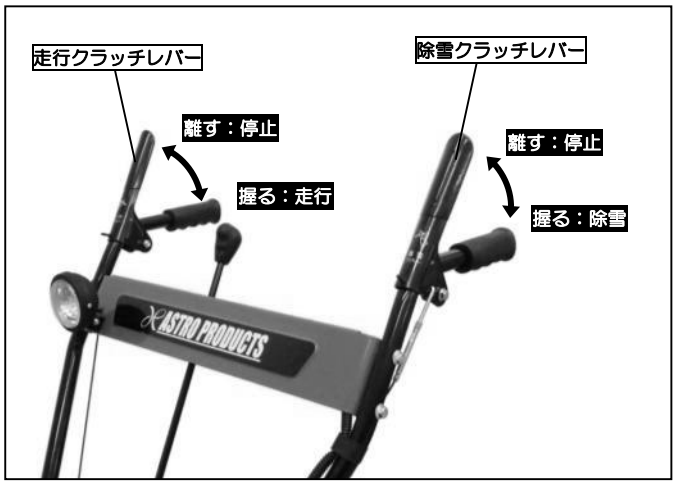
8－1．各部名称



8．各部名称・説明

8－2．各部説明

1．走行・除雪クラッチレバー



●走行クラッチレバーは、前進、後進させるときに使用します。

・握る：走行

・離す：停止

●除雪クラッチレバーは、除雪するときに使用します。

・握る：回転

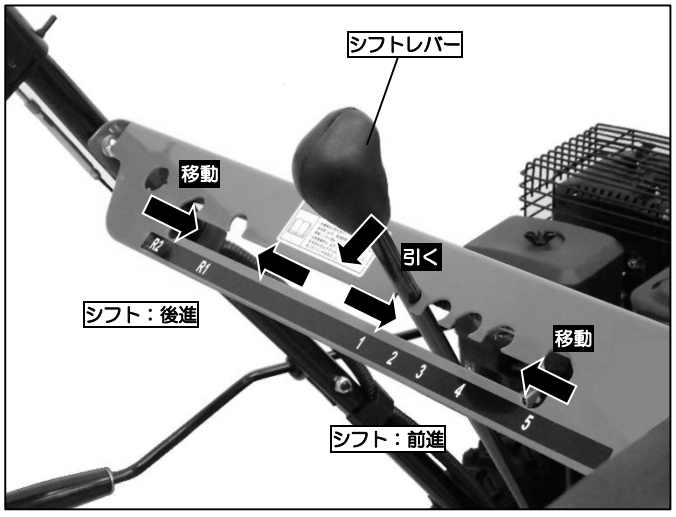
・離す：停止

⚠危険

・緊急時は、速やかに走行・除雪クラッチレバーから、手を離してください。

・絶対に、ヒモや針金などで、縛って固定しないでください。

2．シフトレバー



●走行、除雪など、使用環境によって、速度を変更することができます。

［シフト］

・前進：１速－２速－３速－４速－５速

・後進：１速－２速

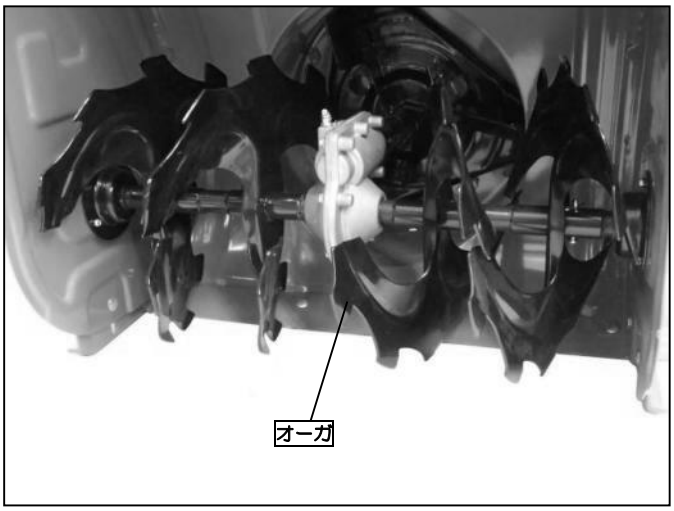
⚠警告

・前進４・５速、後進２速は、速度が速いので操作は十分注意してください。

8. 各部名称・説明

8－2. 各部説明

3. オーガ



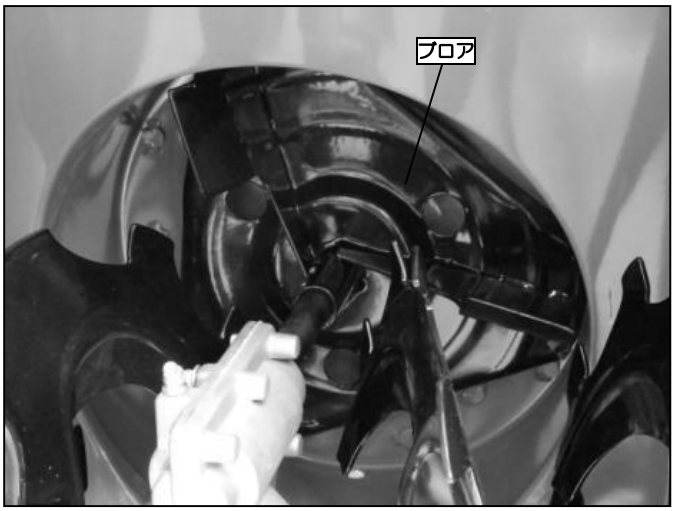
●雪をかき込む部位です。回転することにより、オーガハウジング内に、雪をかき込みます。

・除雪クラッチレバーを握ると回転します。

⚠危険

・オーガ、ブロアの回転中は、覗く、手や足を近づける、入れる行為は、絶対に止めてください。

4. ブロア



●オーガでかき込んだ雪を、投雪するための部位です。回転することにより、雪をシューターから飛ばします。

・除雪クラッチレバーを握ると回転します。

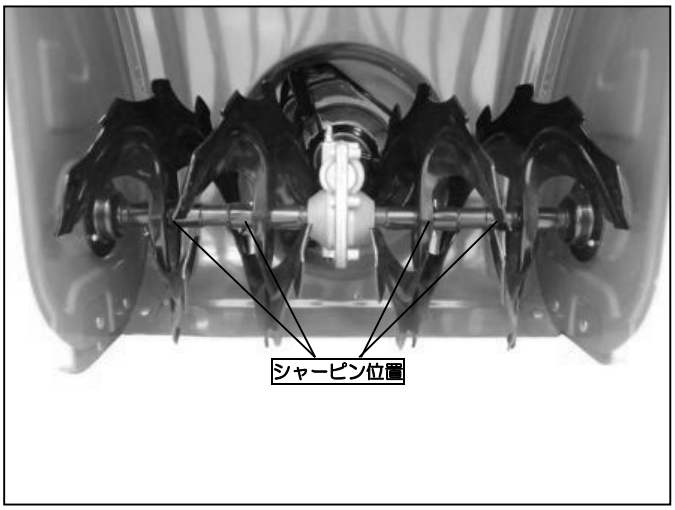
⚠危険

・オーガ、ブロアの回転中は、覗く、手や足を近づける、入れる行為は、絶対に止めてください。

8．各部名称・説明

8－2．各部説明

5．シャーピン（消耗品）



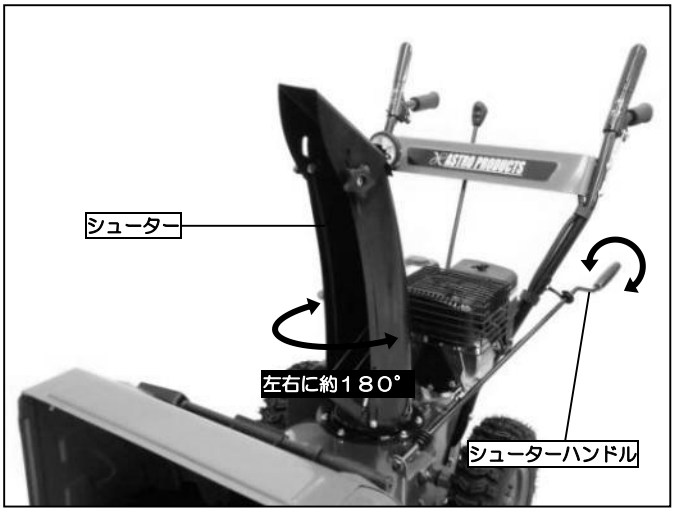
●石や氷などの固い物を、突然噛み込んだときに、除雪機の故障を防ぐための部品です。

・シャーピンを折ることにより、動力伝達部分やエンジンへの損傷を防ぐことができます。

重要

・シャーピンが折損すると投雪することができません。

6．シューター



●投雪方向を調整する部位です。

・シューターハンドルを回すことにより左右に約１８０°回転します。

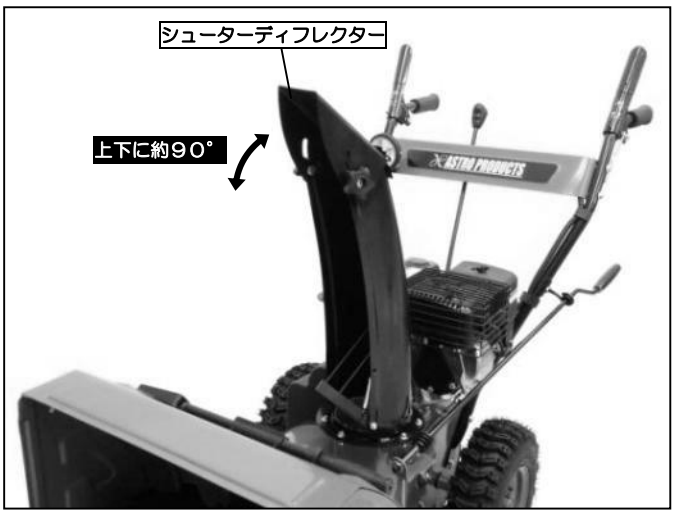
⚠警告

・ハンドル操作中は、走行・除雪各クラッチレバーを握らないでください。

8．各部名称・説明

8－2．各部説明

7．シューターディフレクター



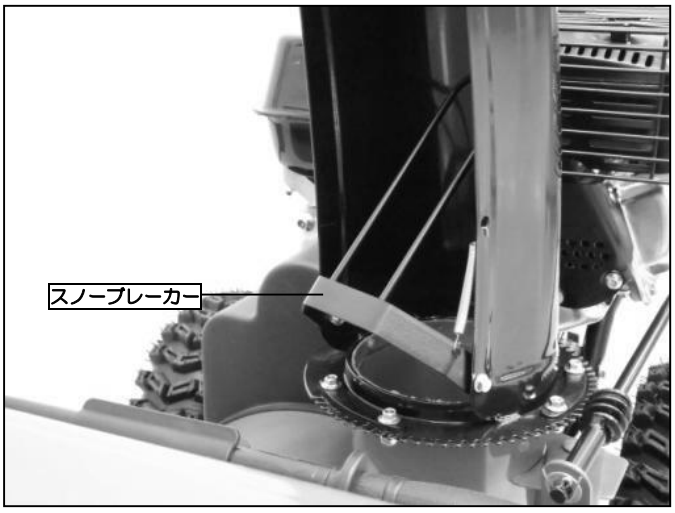
●投雪距離を調整する部位です。

・ノブを緩めることにより上下に約９０°調整できます。

⚠警告

・角度調整中は、走行・除雪クラッチレバーを握らないでください。

8．スノーブレーカー



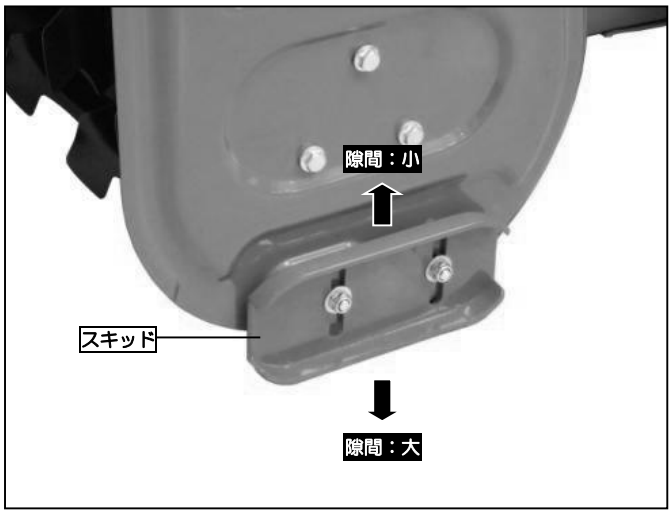
●シューター内側にあり、固い雪を破断する部品です。

・取り外しての使用も可能です。

8. 各部名称・説明

8－2. 各部説明

9. スキッド



●オーガと地面の隙間を調整します。

［地面がアルファルトやコンクリート］

・隙間を小さくする。

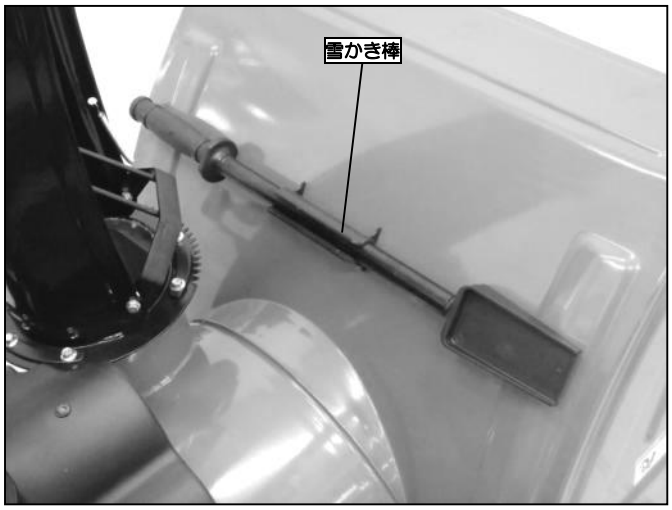
［地面が砂利や小石道］

・隙間を大きくする。

⚠危険

・砂利や小石道で、隙間を小さくすると、雪と一緒に、砂利や小石が投雪され危険です。

10. 雪かき棒



●オーガやブロア、シューター、投雪口に詰まった雪を、取り除く道具です。

・使用後は、元の位置に戻してください。

・ケガの恐れがあるので、必ず、手袋を装着してください。

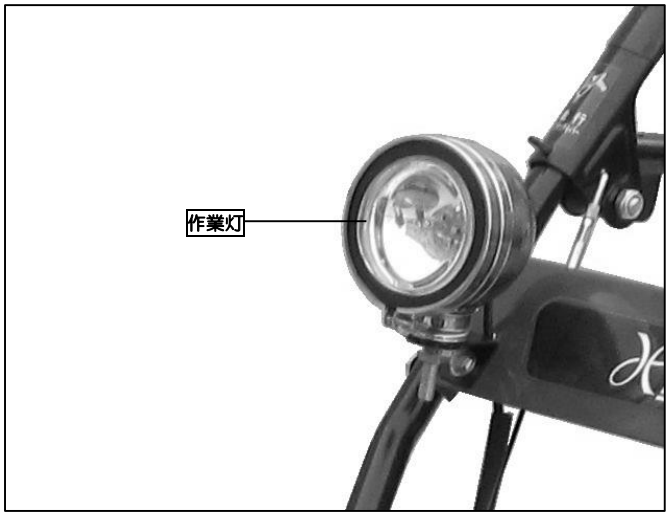
⚠危険

・使用の際は、必ずエンジンを停止してください。エンジン始動中は、絶対に使用しないでください。

8．各部名称・説明

8－2．各部説明

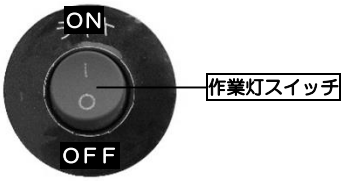
１１．作業灯



●夜間や薄暗いときに点灯させます。

［作業灯スイッチＯＮ］：点灯

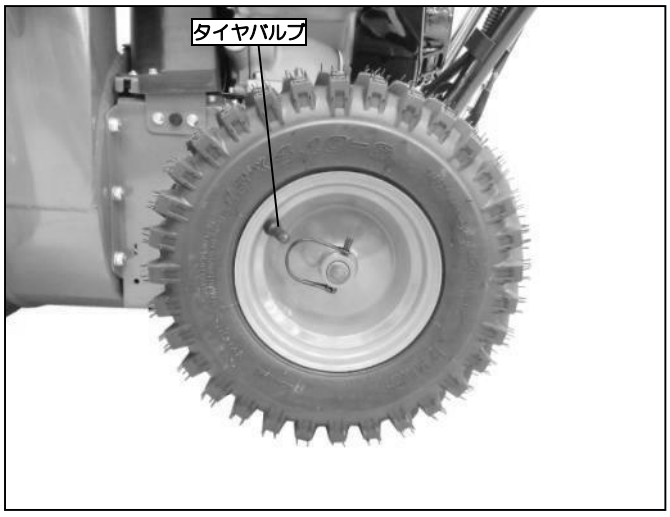
［作業灯スイッチＯＦＦ］：消灯



重要

・作業灯は、エンジンが始動しないと、点灯しません。

１２．タイヤ



●チューブ式のタイヤです。

・空気圧：約０．３ＭＰａ

重要

・空気圧は、定期的に確認し、充填してください。

９．始動前準備

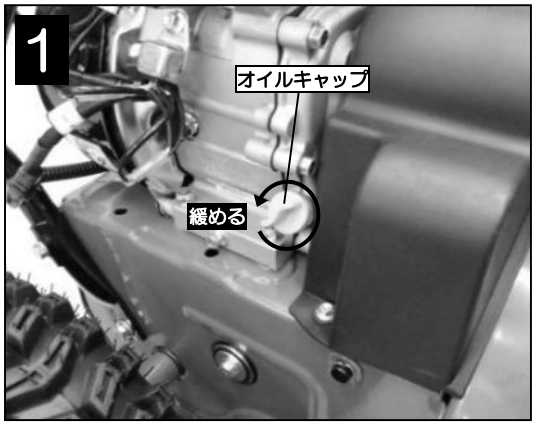
９－１．エンジンオイルの給油

１．エンジンオイルについて

●エンジンオイルの給油や交換は、必ず指定のエンジンオイルを使用してください。

・指定エンジンオイル：４サイクルガソリンエンジンオイル（ＳＡＥ５Ｗ－３０）

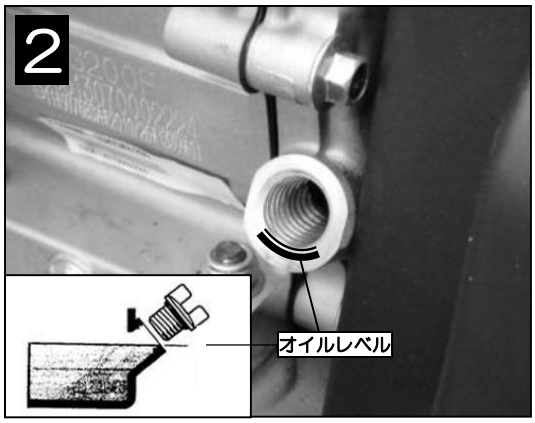
２．給油方法



1 オイルキャップを緩め、エンジンオイルを給油します。

重要

・除雪機は、水平な場所に置いてください。



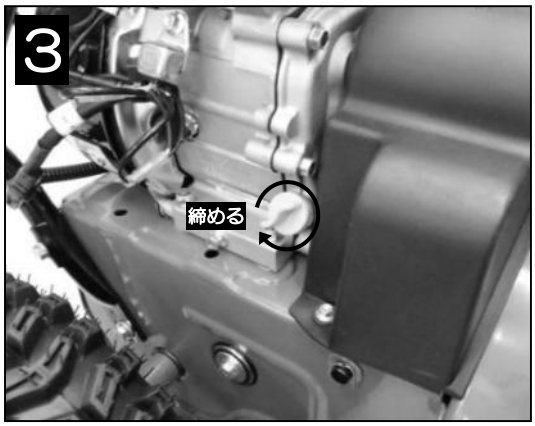
2 オイルレベルまで給油します。

・オイル量：約０．６Ｌ

⚠注意

・給油するときは、こぼさないようゆっくり給油してください。

・エンジンオイルがこぼれた場合は、速やかに拭き取ってください。



3 オイルキャップを、しっかり締め付けます。

９．始動前準備

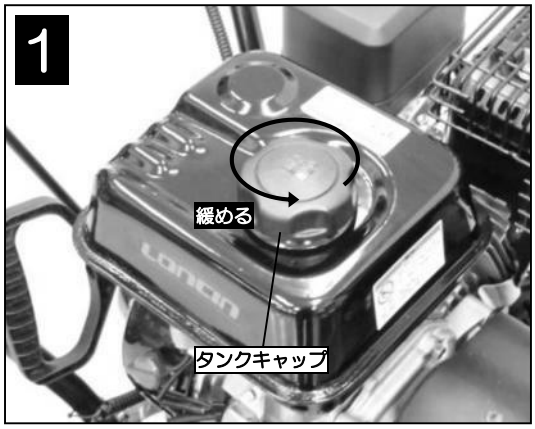
９－２．燃料の給油

１．燃料について

●必ず、指定の燃料を使用し、他の燃料を使用しないでください。

・指定燃料：無鉛レギュラーガソリン

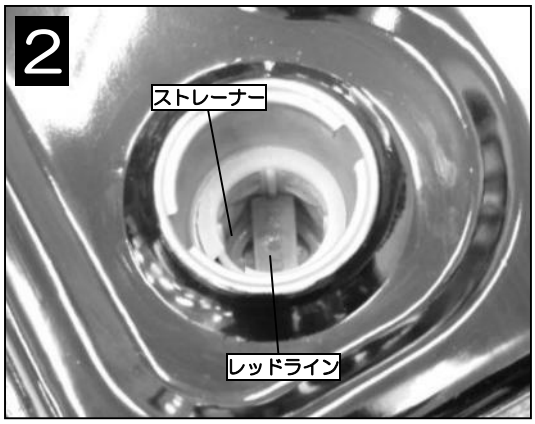
２．給油方法



1 タンクキャップを緩め、外します。

危険

・燃料の給油中は、火気や火気を発生させる物の側では、給油しないでください。
・通気がよく、換気のできる場所で、給油してください。
・必ず、エンジンを停止してください。



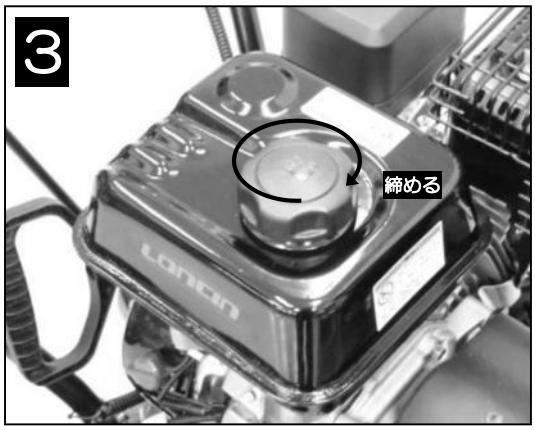
2 １Ｌ以上給油します。

・燃料タンク容量：約３．６Ｌ

・レッドラインは給油限度レベルです。レッドライン以上は、給油しないでください。

危険

・給油中は、タバコを吸わないでください。
・燃料がこぼれた場合は、速やかに拭き取り、完全に乾燥するまで、給油しないでください。



3 タンクキャップを確実に締め、取り付けます。

１０．エンジンの始動・停止

１０－１．エンジン始動

１．エンジン始動の留意点

⚠危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。

・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。

⚠警告

●エンジン始動は、固く平らな場所で行ってください。

・不安定な場所でのエンジン始動は、ケガや事故の原因となります。

●エンジン始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

・事故やケガを負う原因となります。

⚠注意

●エンジン始動は、操作手順に従ってください。

・始動手順に従わないと、エンジン始動困難や、事故やケガを負う原因となります。

２．エンジン始動場所について

●エンジン始動に不適切な場所

・通気の悪い場所（室内・車内・倉庫内・トンネルなど）
・燃料を給油した場所
・建物の近く
・路面が不安定な場所

●エンジン始動に適した場所

・通期がよく、換気のできる場所
・燃料給油場所より、３m以上離れた場所
・建物より、１m以上離れた場所
・固く平らな路面

３．燃料とエンジンオイルの確認

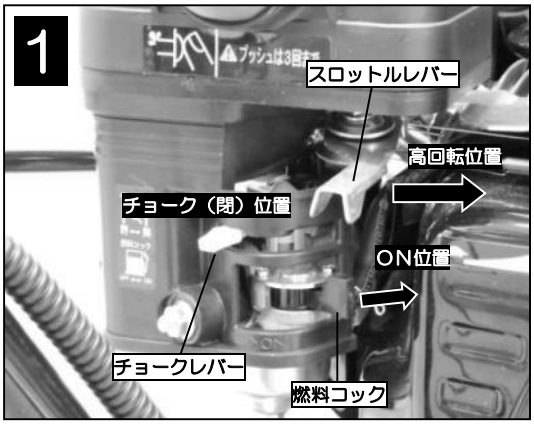
●エンジン始動前には、燃料の量とエンジンオイルの量を確認してください。

・燃料の量が不足すると始動困難となります。
・エンジンオイルの量が不足すると、本体故障の原因となります。

１０．エンジン始動・停止

１０－１．エンジン始動

４．始動手順

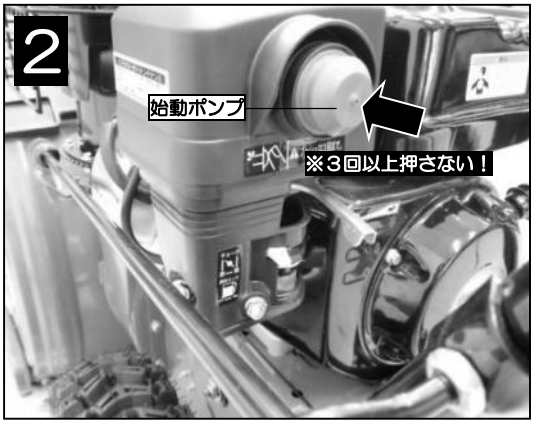


1 各レバーを、操作します。

- 燃料コック：ON位置
- チョークレバー：チョーク（閉）位置
- スロットルレバー：高回転位置

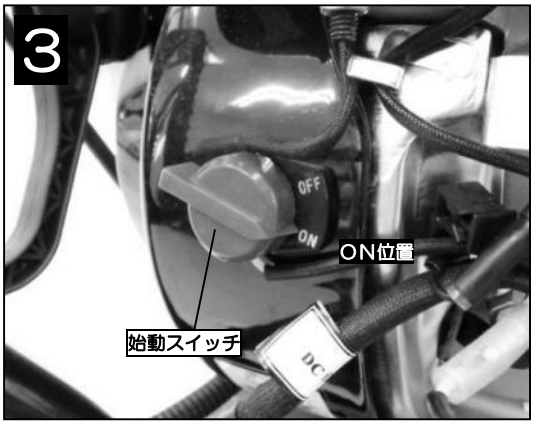
重要

- **エンジンが暖まっているときは、チョークレバーの操作は不要です。**



2 始動ポンプを、１～３回押します。

- ３回以上、押さないでください。



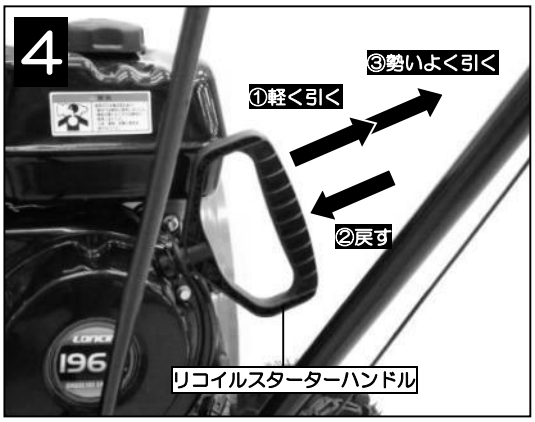
3 始動スイッチを、操作します。

- 始動スイッチ：ON位置

１０．エンジン始動・停止

１０－１．エンジン始動

４．始動手順



4 リコイルスターターハンドルを、操作します。

①重くなる位置まで軽く引く

②戻す

③勢いよく、最後まで引く

重要

・１回でエンジンが始動しないときは、①から操作を繰り返してください。

5 エンジン回転が安定するのを確認しながら、チョークレバーを、徐々に戻します。

・チョークレバー：チョーク（開）位置

１０．エンジン始動・停止

１０－２．エンジン停止

１．エンジン停止時の留意点

⚠危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。

・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。

⚠警告

●エンジン停止は、平らな場所に置き、本体をしっかり押さえながら停止してください。

・不安定な場所でのエンジン停止は、事故やケガを負う原因となります。

●エンジン停止するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

・事故やケガを負う原因となります。

⚠注意

●エンジン停止は、操作手順に従ってください。

・始動手順に従わないと、エンジン始動困難や、ケガや事故の原因となります。

２．エンジン停止場所について

●エンジン始動に不適正な場所

・通気の悪い場所（室内・車内・倉庫内・トンネルなど）
・燃料を給油した場所
・建物の近く
・路面が不安定な場所

●エンジン始動に適した場所

・通気がよく、換気のできる場所
・燃料給油場所より、３m以上離れた場所
・建物より、１m以上離れた場所
・固く平らな路面

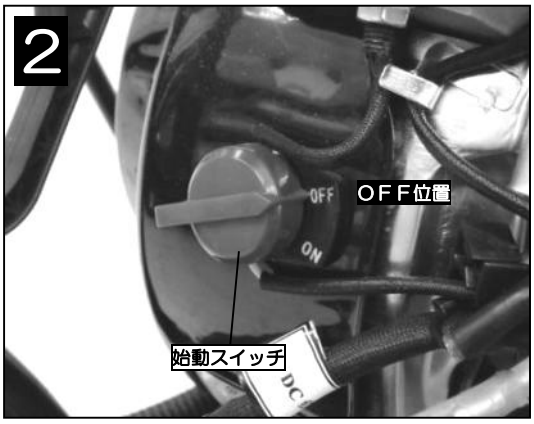
１０．エンジン始動・停止

１０－２．エンジン停止

３．停止手順

1 スロットルレバーを、操作します。

・スロットルレバー：低回転位置



2 始動スイッチを、操作します。

・始動スイッチ：ＯＦＦ位置

3 燃料コックを、操作します。

・燃料コック：ＯＦＦ位置

> ⚠警告
> ・エンジン停止直後の、エンジンやその周辺は、大変高温になっています。近づいたり、触れたりしないでください。

１１．運転方法

１１－１．前進

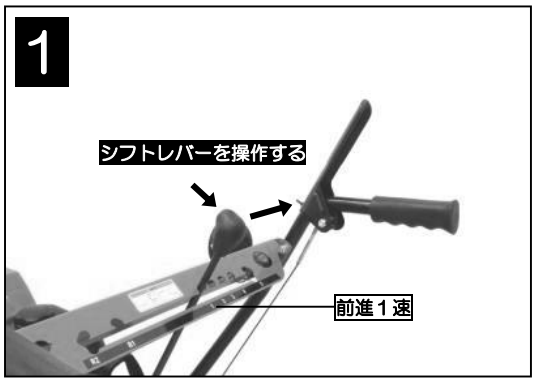
１．走行前の確認

●周囲の安全を、よく確認してください。

●エンジンの始動方法を、よく確認してください。

・[１０．エンジンの始動・停止]参照（Ｐ２６）

２．操作方法

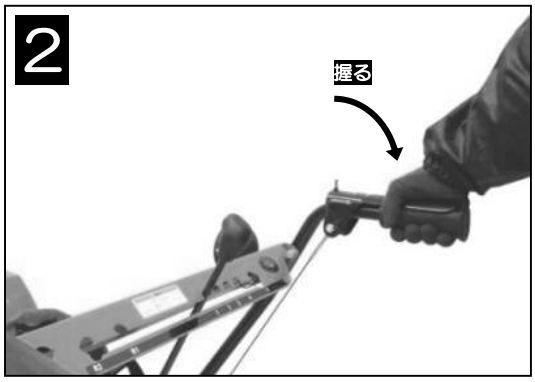


1 シフトレバーを前進１速（低速）～前進５速（高速） の何れかの位置に合わせます。

・除雪のときは、１速などの低速で行ってください。

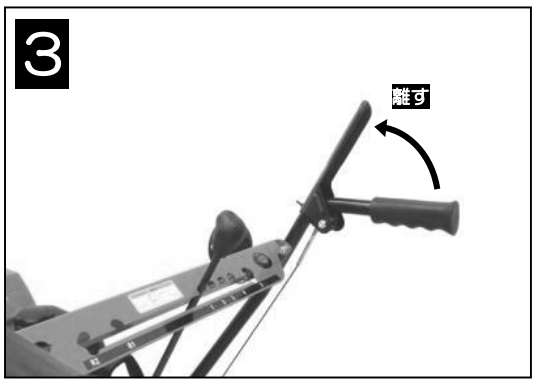
・操作は、走行を停止させてから、行ってください。

> **⚠警告**
> **・慣れていないときは、５速などの速い速度で、走行しないでください。**



2 走行クラッチレバーを握ると、前進します。

> **⚠注意**
> **・片手で操作しないでください。左手は、必ず除雪クラッチレバー側のハンドルを、しっかり握ってください。**
> **・走行中は、シフトチェンジしないでください。**
> **・曲がるときは、曲がる方向に向けます。**



3 走行クラッチレバーを離すと、停止します。

> **⚠危険**
> **・危険を感じたら、すぐに走行クラッチレバーを、離してください。**

１１．運転方法

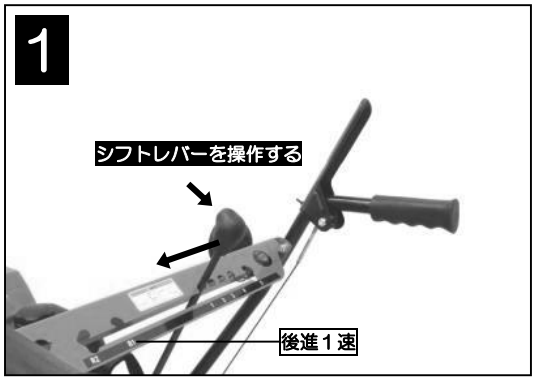
１１－２．後進

１．走行前の確認

●後方の安全をよく確認、足元に十分注意してください。

●滑りやすい路面では、ゆっくり慎重に後進してください。

２．操作方法

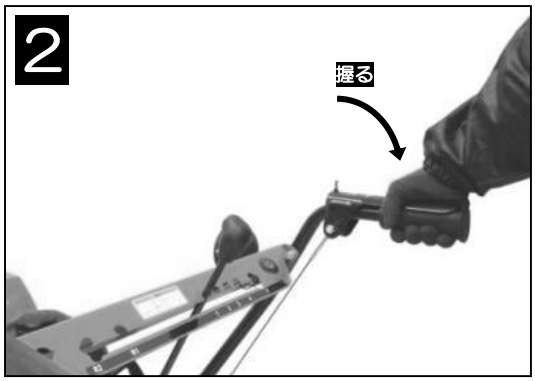


1 シフトレバーを、後進１速、または後進２速の、何れかの位置に合わせます。

・シフトレバーの操作は、走行を停止させてから、行ってください。

⚠警告

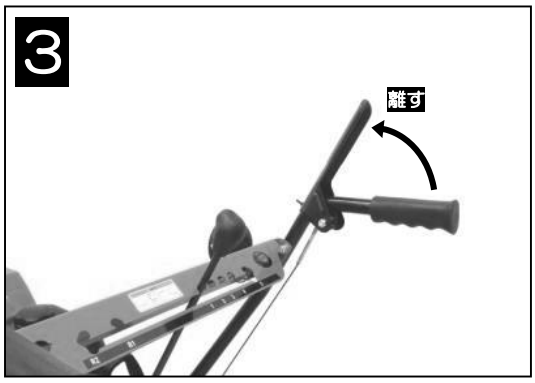
・慣れていないときは、２速などの速い速度で、走行しないでください。



2 走行クラッチレバーを握ると、後進します。

⚠注意

・片手で操作しないでください。左手は、必ず除雪クラッチレバー側のハンドルを、しっかり握ってください。
・走行中は、シフトチェンジしないでください。
・曲がるときは、曲がる方向に向けます。



3 走行クラッチレバーを離すと、停止します。

⚠危険

・危険を感じたら、すぐに走行クラッチレバーを、離してください。

１２．除雪方法

１２－１．準備

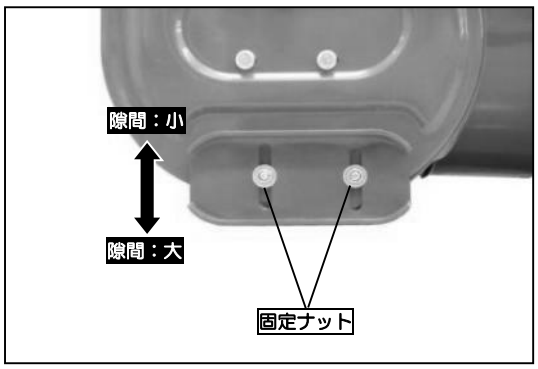
１．作業前準備

●除雪作業前には、必ず除雪作業場所を、よく点検してください。木片、缶、石、針金、ナワ、金属片などの異物は、全て取り除いてください。

●作業間には、必ず防寒用の衣類を着用してください。

●エンジン始動前に、除雪場所に応じて、各部を調整してください。

２．各部調整

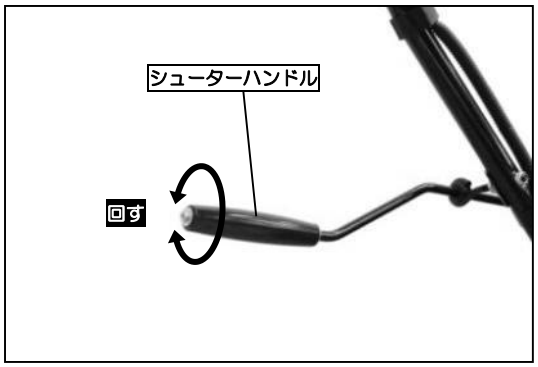


●スキッドの高さ調整

・固定ナットを緩め、路面状況に適した高さに、左右のスキッドを、同じ高さに調整します。

・調整後は、固定ナットを確実に締め付けてください。
［アルファルトやコンクリート路面］⇒ 隙間小さく
［地面が砂利や小石道］⇒ 隙間大きく

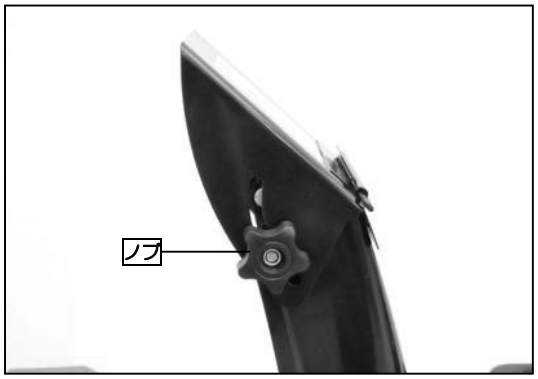
・除雪作業中に、再調整するときは、必ずエンジンを停止させてください。



●シューターの向き調整

・シューターハンドルを回し、向きを調整します。

⚠危険
・シューターを、人や動物、建物、自動車などに向けないでください。



●シューターディフレクターの角度調整

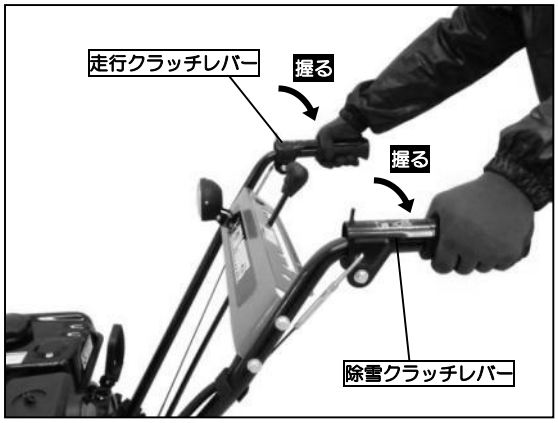
・左右のノブを緩め、角度を調整します。

⚠危険
・シューターを、人や動物、建物、自動車などに向けないでください。

１２．除雪方法

１２－２．除雪

１．除雪操作



⚠危険
- **オーガ、ブロアの回転中は、覗く、手や足を近づける、入れる行為は、絶対に止めてください。**
- **危険を感じたら、走行・除雪クラッチレバーを、すぐに離してください。**
- **走行・除雪クラッチレバーを、ヒモや針金などで、固定しないでください。**

1 エンジンを始動させます。
- ［１０．エンジンの始動・停止］参照（Ｐ２６）

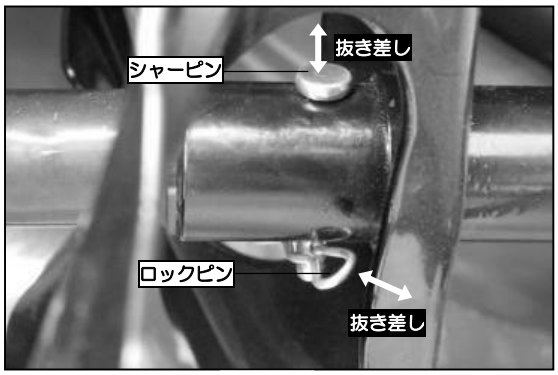
2 シフトを、１速、または２速にします。

3 走行クラッチレバーを握ります。

4 除雪クラッチレバーを握ります。
- 本製品は、除雪クラッチレバーを固定する機能は備わっていません。
- 除雪作業中に、エンジン回転数が下がるときは速度が速すぎるので、減速してください。
- 投雪向き・距離を調整するときは、スロットルレバーを低速位置にしてから、調整してください。
- スキッドの高さを調整するときは、一度エンジンを、停止させてから、調整してください。

5 エンジンを停止します。
- ［１０．エンジンの始動・停止］参照（Ｐ２６）

２．シャーピンの交換

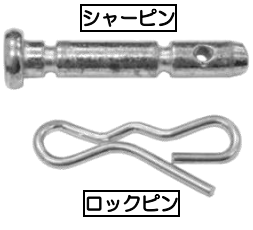


1 ロックピンを取り外し、シャーピンを抜きます。

2 新品のシャーピンを差し込み、ロックピンで固定します。

●投雪されないときは、シャーピンが折れています。
シャーピンが折れたら、新品と交換してください。

⚠危険
- **エンジンを停止し、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。**



１３．点検・整備

１３－１．点検・交換時の留意点

⚠危険

●点検・清掃するときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。

・エンジン始動状態での作業は、重大な事故や、重傷を負う原因となります。

⚠警告

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、点検・清掃してください。

・加熱された状態での点検・清掃は、ヤケドや火災など事故の原因となります。

１３－２．定期運転・交換

●保管状態でも、常に使用できる状態を保つため、定期運転・交換を行ってください。

・定期運転：１ヶ月に一度、エンジンの始動状態を確認してください。

・定期交換：燃料を、燃料タンクに残したまま保管する場合は、燃料の変質を防ぐため、１ヶ月に１度、燃料を交換してください。

・長期間保管する場合は、必ず燃料を全て抜いてください。

１３－３．点検・交換目安

●目安時間・期間が経過したら、速やかに点検・交換してください。

●点検・交換目安は、期間毎、または運転時間毎のどちらか早い方で行ってください。

●各点検交換作業は、必ずエンジンを停止させてください。

	使用前点検 （毎時）	１ヶ月または ２０時間運転後	３ヶ月または ５０時間運転後	６ヶ月または １００時間運転後	１年または ３００時間運転後
エンジンオイル	点検	交換 **※2**		交換	交換
フィルター	点検・清掃 **※1**		点検・清掃	点検・清掃	
スパークプラグ				点検・清掃・調整	交換
燃料タンク			点検・清掃		
ギアケース		点検			

※１：ホコリなどが多い場所で使用した場合、フィルターを１０時間運転後、または１日１回清掃してください。

※２：エンジンオイルは、初回のみ１ヶ月、または２０時間運転後に交換してください。

１３．点検・整備

１３－４．エンジンオイルの点検・交換

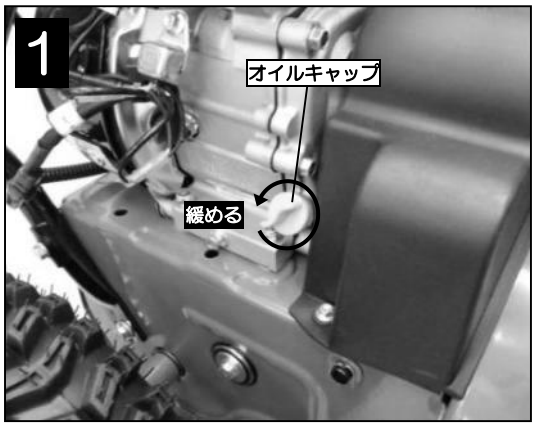
１．点検・交換時期

●初回交換：１ヶ月、または２０時間運転後

●初回以降交換：６ヶ月毎、または１００時間運転後

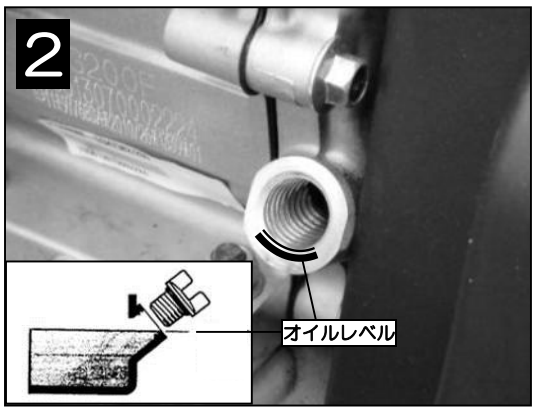
●推奨エンジンオイル：４サイクルガソリンエンジンオイル（ＳＡＥ５Ｗ－３０）

２．エンジンオイルの点検



1 オイルキャップを緩めて外します。

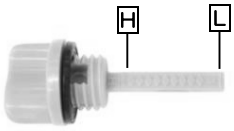
重要
・除雪機は、水平な場所に置いてください。

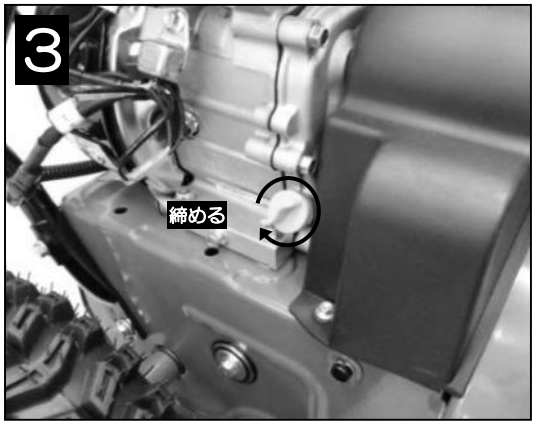


2 オイルレベルまで、オイルが入っているか点検します。

［オイルキャップで点検する場合］

・給油口に差し込み「H」レベルと「L」レベルの間にオイルが付着すれば適量となります。



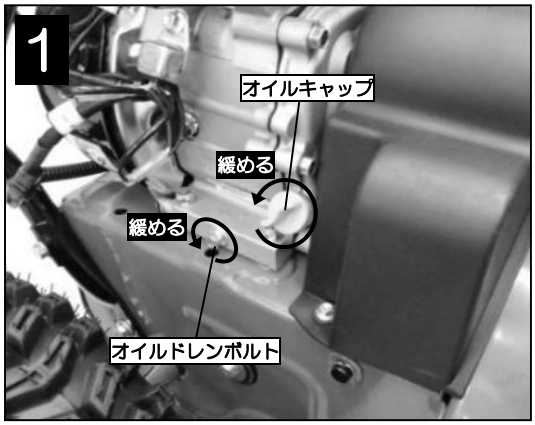


3 オイルキャップを、しっかり締め付けます。

１３．点検・整備

１３－４．エンジンオイルの点検・交換

３．エンジンオイルの交換



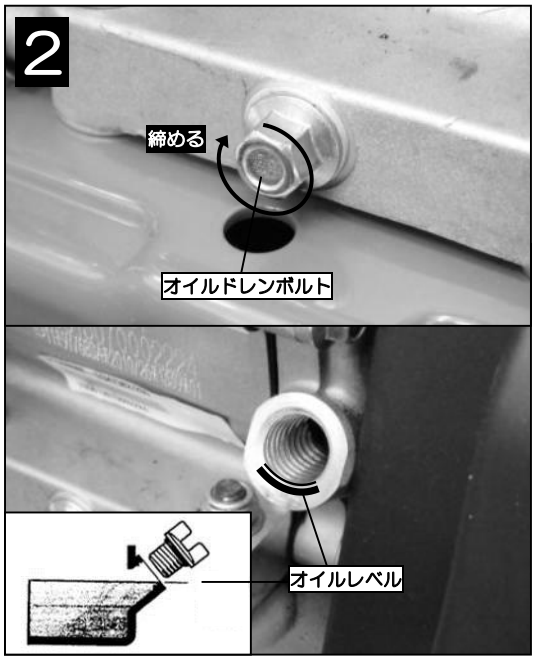
1 除雪機を、水平にします。

・オイルキャップを緩めて外します。

・オイルドレンボルトを緩めて外しオイルを容器に受けます。

⚠警告

・エンジン停止直後のエンジンオイルは、大変高温になっています。必ず、冷めてから、オイルを抜いてください。



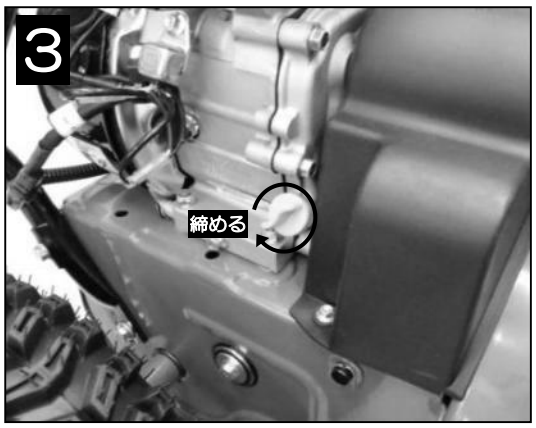
2 オイルドレンボルトをしっかり締め付け、オイルレベルまで給油します。

・オイル量：約０．６Ｌ

⚠注意

・給油するときは、こぼさないようゆっくり給油してください。

・エンジンオイルがこぼれた場合は、速やかに拭き取ってください。



3 オイルキャップを、しっかり締め付けます。

１３．点検・整備

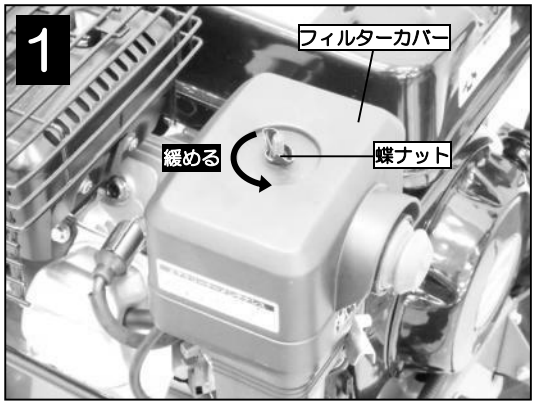
１３－５．フィルターの清掃

１．フィルター清掃時期

●通常：３ヶ月、または５０時間運転後

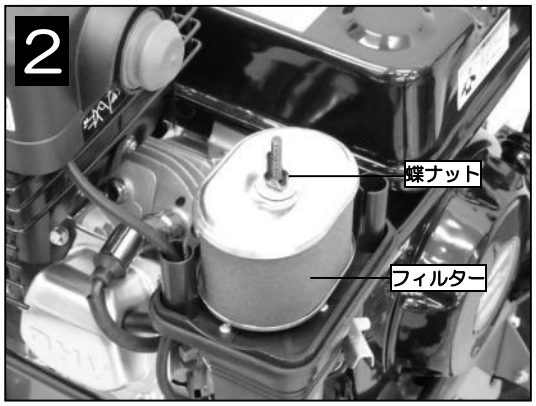
●使用時：使用後、または１０時間運転後

２．フィルターの清掃



1 蝶ナットを緩め、フィルターカバーを外します。

⚠危険
・必ず、エンジンを停止してください。

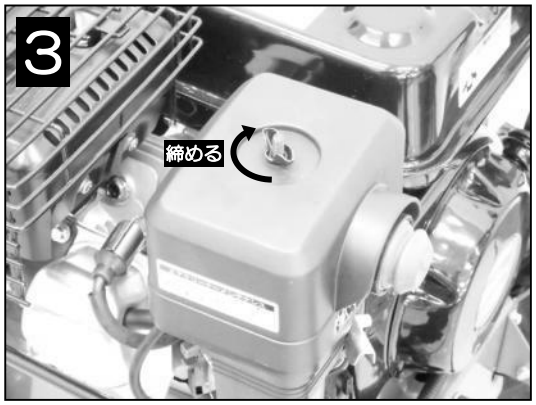


2 蝶ナットを緩め、フィルターを取り外します。

［清掃］

・取り外したフィルターは、圧縮空気を使用し汚れを飛ばします。このとき、フィルターを破損させないよう、注意してください。

・フィルターが損傷・破損している場合は、新品と交換してください。



3 取り外した逆の手順で、組み付けます。

⚠警告
・フィルターが付いていない状態で、エンジンを始動させないでください。エンジンの不調や、故障、事故の原因となります。

１３．点検・整備

１３－６．スパークプラグの点検・清掃・交換

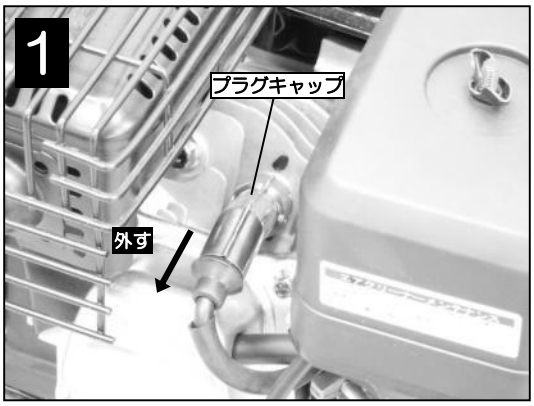
１．スパークプラグの点検・清掃・交換時期

●点検・清掃：６ヶ月、または１００時間運転後

●交換：１年、または３００時間運転後

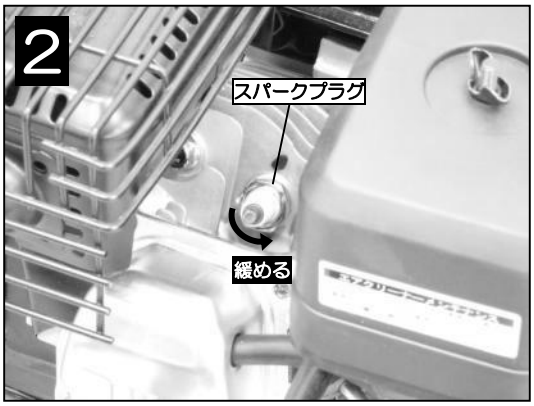
●標準スパークプラグ：Ｆ７ＲＴＣ（ＴＯＲＣＨ）　／　※他社品：ＢＰＲ７ＥＳ（ＮＧＫ）

２．スパークプラグの取り外し



1 プラグキャップを外します。

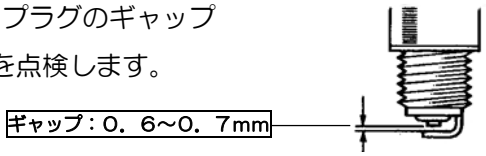
⚠危険
- **必ず、エンジンを停止してください。**
- **エンジン停止直後のスパークプラグは、大変高温になっています。必ず、冷めてから取り外してください。**

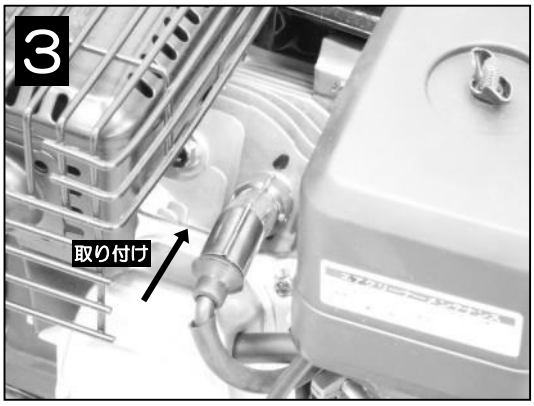


2 付属のプラグレンチを使用し、スパークプラグを取り外します。

［清掃・点検］

- 電極のカーボンをワイヤーブラシで除去します。このとき、碍子を損傷させないでください。
- スパークプラグのギャップ（隙間）を点検します。





3 取り外した逆の手順で、組み付けます。

- 交換する場合は、新品を取り付けてください。
- スパークプラグの締め過ぎに、注意してください。
- プラグキャップは、確実に取り付けてください。

⚠危険
- **指定外のスパークプラグは、重大な事故の原因となります。絶対に使用しないでください。**

１３．点検・整備

１３－７．ギアケースの点検

１．ギアケースの点検時期

●準備（別途用意）：グリスガン、グリス（リチウム系耐熱グリス）

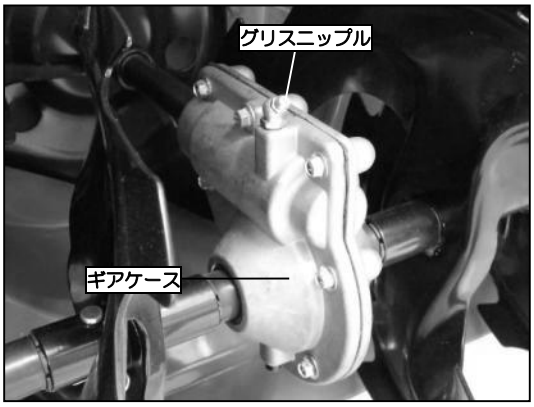
●点検（グリス注入）：２０時間運転後

・ギアケースの損傷・破損の点検

・ボルトの増し締め

・グリスの注入

２．ギアケースの点検



●損傷・破損を確認し、ボルトを増し締めしてください。

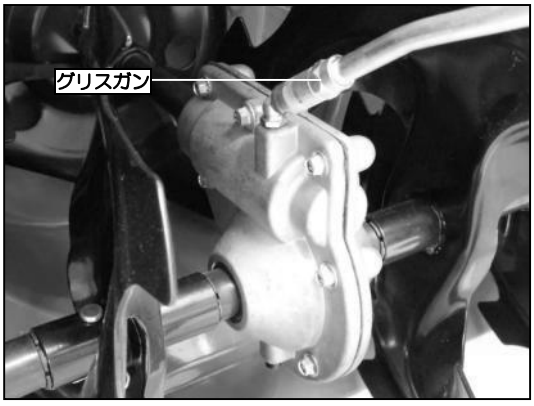
・ボルトの締め過ぎに注意してください。

・グリスニップルに損傷がある場合は新品と交換してください。

⚠危険

・必ず、エンジンを停止してください。

３．グリスの注入



●グリスニップルに、グリスガンを接続し、グリスを注入します。

・グリスガンの使用方法はグリスガンの取扱説明書に従ってください。

・余分なグリスを、きれいに拭き取ってください。

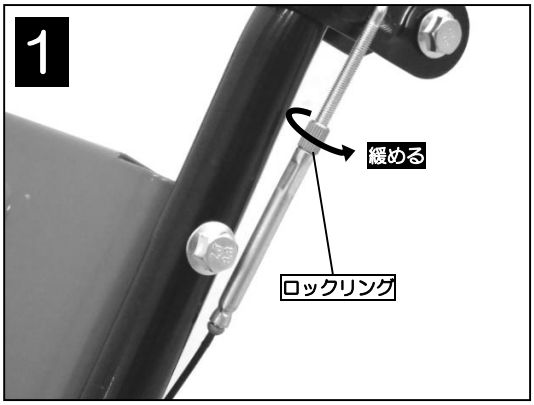
⚠危険

・必ず、エンジンを停止してください。

１３．点検・整備

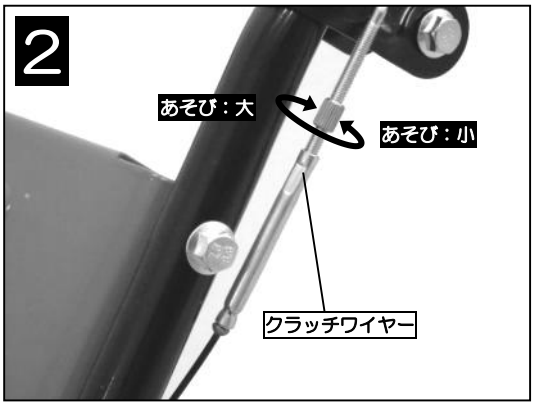
１３－８．走行・除雪クラッチレバーの調整

１．あそび調整

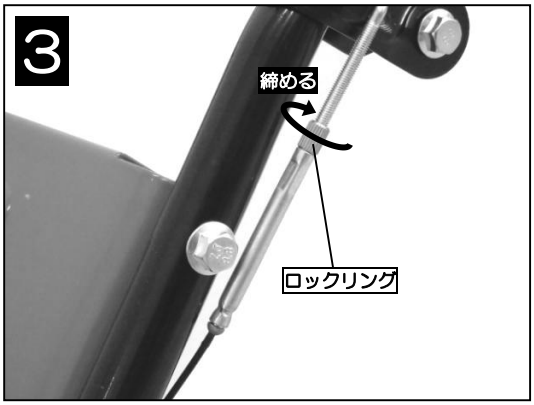


1 ロックリングを、緩めます。

危険
・必ず、エンジンを停止してください。



2 走行・除雪クラッチレバーの遊びを確認します。
・あそび：約１～３ｃｍ



3 ロックリングを締め付け、しっかり固定します。

１４．燃料の抜き方

１４－１．燃料を抜くときの留意点

●長期保管、運搬時には、必ず燃料を抜き取ってください。燃料は、長期間放置すると劣化し、エンジン始動困難など、故障原因となります。

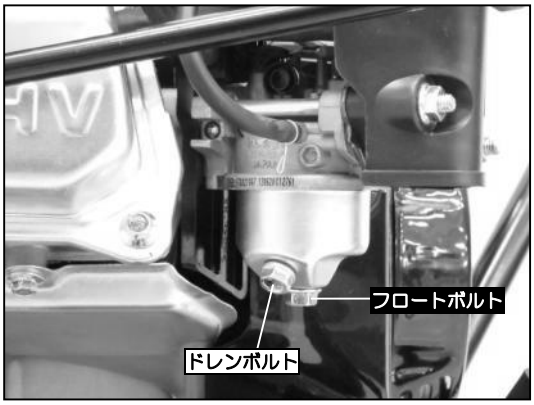
●燃料を受ける耐ガソリン性の容器を準備してください。

●抜き取った燃料は、容器の取扱説明書に従うか、お住まいの自治体の処理方法に従ってください。

●燃料は取り扱いを誤ると、火災、爆発する危険があります。次の内容を、必ず守ってください。

・タバコを吸わない。
・火気や、火気を発生させる物のそばで抜き取らない。
・通気がよく、換気のできる場所で抜き取る。
・静電気を除去してから抜き取る。
・エンジンを停止させる。

１４－２．抜き方



1 タンクキャップを緩め、外します。

2 燃料コックを、ONにします。

3 キャブレターのドレンボルトを緩め、燃料を容器に受けます。このとき、フロートボルトは緩めないでください。

⚠危険
・こぼれた燃料は、すみやかに、拭き取ってください。

4 完全に燃料が抜けたら、ドレンボルトをしっかり締め付けます。

5 ストレーナーを取り出し、清掃します。

6 タンクキャップを確実に締め、取り付けます。

キャブレター側に、少し傾ける。

［ ポイント ］
・除雪機を、キャブレター側に少し傾けると、燃料タンク内の燃料が、抜けやすくなります。
・横転する恐れがあるので、傾け過ぎに注意してください。

１５．保管・運搬

１５－１．保管・保管時の留意点

⚠警告

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、保管してください。
・加熱された状態での保管は、ヤケドや火災など事故の原因となります。

●燃料タンク内に、燃料を入れたまま保管しないでください。
・燃料がこぼれる恐れがあり、火災の原因となりますので、必ず燃料を抜いてください。

⚠注意

●１ヶ月以上、長期間使用しないときは、必ずガソリンを抜いてください。
・燃料の劣化により、エンジン始動困難や故障の原因となります。

●使用者以外、保管場所に近づけないで、施錠のできる場所に保管してください。
・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

●整理整頓された場所、清潔で常温な場所に保管してください。
・障害物がある場所、高温・多湿、ホコリが多い場所、振動のある場所には保管しないでください。

１５－２．保管方法

●１ヶ月以上、長期間保管する場合は、次の内容で保管してください。

1 燃料を全て抜きます。
・[１４．燃料の抜き方]参照（Ｐ４２）

2 スパークプラグを取り外し、４サイクルガソリンエンジンオイルを数滴たらします。
・オイルの入れ過ぎに注意してください。

3 リコイルスターターハンドルを数回引き、スパークプラグを取り付けます。

4 リコイルスターターハンドルを、重くなる位置まで軽く引きます。

5 各可動部に、潤滑油を注油し、各部の汚れを取り除き、防錆処理を施します。

6 除雪機にカバーを掛け、屋内で湿気がなく、換気のよい場所に保管します。

１５－３．運搬方法

●トラックなどで除雪機を運搬する場合、次の内容で運搬してください。

1 燃料を全て抜きます。
・[１４．燃料の抜き方]参照（Ｐ４２）

2 除雪機にカバー掛けます。

3 タイヤに、輪止めをし、ロープなどで除雪機を確実に固定します。

１６．トラブルシューティング

症状	原因	原因箇所と原因	対策
エンジンが始動しない。	燃料系統を確認 ※燃焼室に燃料が供給されていない。	燃料タンクが空になっている。	燃料を給油する。
		燃料ホースが詰まっている。	※お近くの専門業者に相談してください。
		燃料コックが詰まっている。	※お近くの専門業者に相談してください。
		キャブレターが詰まっている。	※お近くの専門業者に相談してください。
	電気系統を確認 ※スパークプラグより火花が飛んでいない。	スパークプラグが汚れている。	スパークプラグの清掃を行う。
		スパークプラグにカーボンが付着している。	スパークプラグの清掃を行う。
		点火系統の不良	※お近くの専門業者に相談してください。
	圧縮系統を確認 ※圧縮不足、圧縮漏れ	ピストンリングが損傷している。	※お近くの専門業者に相談してください。
除雪しない。	オーガ・ブロアを確認	雪が詰まっている。	雪かき棒で、詰まった雪を取り除いてください。
		シャーピンが折れている。	新品のシャーピンと交換する。
	除雪クラッチワイヤー確認	あそびが大きい。	あそびを調整してください。
		除雪クラッチレバーから、除雪クラッチワイヤーが外れている。	除雪クラッチワイヤーを、取り付ける。
		除雪クラッチワイヤーが、切れている。	新品の除雪クラッチワイヤーと交換する。
	除雪ベルトを確認	除雪ベルトが摩耗、または切れている。	※お近くの専門業者に相談してください。
走行しない。	タイヤを確認	空気が入っていない。	空気を入れる。
		パンクしている。	※お近くの専門業者に相談してください。
	走行クラッチワイヤー確認	あそびが大きい。	あそびを調整してください。
		走行クラッチレバーから、走行クラッチワイヤーが外れている。	走行クラッチワイヤーを、取り付ける。
		走行クラッチワイヤーが、切れている。	新品の走行クラッチワイヤーと交換する。
	走行ベルトを確認	走行ベルトが摩耗、または切れている。	※お近くの専門業者に相談してください。
	走行ディスク・シフトプーリー確認 ※本体下部カバー内	走行ディスクの破損、またはシフトプーリーのラバーの摩耗・損傷	※お近くの専門業者に相談してください。

１７．破棄について

●本製品を廃棄する場合は、お住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って、廃棄してください。
●指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

１８．所有者・使用者責任

●所有者、および使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）をよく読み、理解しなければなりません。
●資格を持ち、製品の構造、および構成している部品をよく理解し、十分な経験のある人が責任を持って、当該商品を使用した作業を行ってください。
●危険・警告事項は、特によく理解してください。
●所有者、および使用者は今後の作業のうえで、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように、努めてください。
●重要ラベル、説明書については、いつでも読むことができるように、よい状態で保管してください。

１９．故障について

●故障と思われる場合は、お近くの専門業者に依頼してください。
●当社では、修理サービスは行っていません。

２０．個人情報の取り扱い

●ご提示いただいたご住所、お名前などの個人情報は、修理や相談のためのみに利用させていただきます。
●個人情報は、適切に管理し、修理業務を委託する場合や、正当な理由がある場合を除き第三者に開示、提供することはありません。

２１．販売規約

●本製品は、以下の販売規約に同意の元、ご購入頂いております（販売規約文面抜粋）。当社では、販売規約に準じた対応をとらせていただきますこと、ご了承ください。

（１）現状態の販売品でございます。

・現状態により、外観上のキズやサビなどをご理解ご了承の上、組み立て品を、お持ち帰りいただける方に限り、販売とさせていただいております。

・当製品は、湿り気を帯びた雪、圧雪された雪など、積雪の性質によっては、除雪できなくなることが御座います。

※恐れいりますが、上記についてご理解いただけない場合、もしくはお持ち帰りの困難な方、配送を必要とする方の販売は控えさせていただきますこと、ご了承ください。

※値引き対応は応じかねますので、ご了承ください。

（２）お渡しの際、エンジン始動は行っておりません。

・エンジンオイル、ガソリンのご用意はございませんので、ご準備下さいますよう、お願い申し上げます。

（３）当社規定の６ヶ月保証、定期点検につきましては、対象外とさせていただきます。

・当製品は現状販売のため、６ヶ月保証、定期点検対象外とさせていただきます。

・初期不良以外の保証対応は応じかねますので、ご了承ください。

※初回使用、または購入後１週間以内での不具合に限り、初期不良として対応させていただきます。

（４）訪問対応や、引き取り回収業務は行っておりません。

・初期不良の場合は、購入店までお持ち下さいますこと、ご了承ください。

（５）修理対応は出来かねますこと、ご了承ください。

・当製品の修理につきましては、当社では一切お受けできかねますこと、ご了承ください。

・修理などにつきましては恐れ入りますが、お近くの専門業者にご依頼ください。また、初期不良以外の起因による不具合、破損などは、当社では責任を負いかねますこと、予めご了承ください。

・修理費用、並びに修理工場への引き取り費用などの負担、および引き取りなどの業務は、当社では負いかねますこと、ご了承ください。

（６）部品供給

・ベルトやシャーピンなどの、部品の供給は可能でございます。お求めの場合は、お買い求めの販売店へ、ご相談ください。

・他社製品との互換性などに関するご質問には、お答えできかねます。また、他社製品の部品を使用して生じたいかなる損害に対しまして、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますところ、ご了承ください。

（７）本同意書の記載事項は、他の規約事項より優先されます。

２２．お問い合わせ先

カスタマーサービス

●故障と思われるときや、商品についての問い合わせは、次の番号まで連絡ください。

【ＴＥＬ】：０４８－５０１－７８７３

【受付時間】：月曜日～土曜日　１０：００～１９：００

※日曜日、祝日、当社が定める休日を除く

販売元　株式会社ワールドツール

●住所：〒３６９－１１０６　埼玉県深谷市白草台２９０９－５０

●電話番号：０４８－５０１－７８７１

●ＦＡＸ：０４８－５０１－７８７２

●ホームページ：ｈｔｔｐ：//www．ａｓｔｒｏ－ｐ．ｃｏ.ｊｐ

●住所・電話番号・受付時間が、予告なく変更になることがありますので、ご了承ください。

●上記電話番号が利用できない場合は、各地域の販売店へご連絡ください。

（２０１４年8月）